

047 室町時代 政治史⑩ 室町幕府の動揺2

<6代将軍 足利義教>

貿易再開

① くじ引き神判 で新将軍に正式就任。

神に選ばれた。神意なり。

将軍権力の絶対化を目指し、

将軍直属兵力 奉公眾 の兵力拡大。

↑再開した勘合貿易の利益で。

② 永享の乱

将軍の最大のライバルは鎌倉公方
の足利持氏を滅ぼす

→ 結城合戦 で足利持^{もちうじ}氏の子を滅ぼす。
関東平定。

③ 将軍権力強化実現。逆らう守護を滅ぼす。

④ 1441 嘉吉の変

結城合戦の勝利の宴を名目に、赤松満祐
が将軍足利義教を暗殺。同席していた管
領細川持之もまっさきに逃げる。

将軍暗殺で一時的に幕府大混乱。

足利義勝^{よしかつ}が新将軍に決まったとき、民衆
が"代初めの徳政令" 発布を要求。

→ 嘉吉の徳政一揆 が京都を制圧。

侍所の長官(所司)^{やまなそうぜん}の山名宗全は、
赤松討伐のため播磨に出撃中だった

あ 山名宗全 …播磨^{はりま}に居座り帰京せず
(京都に帰らないで一揆勢を放置)

い 畠山持国…裏^{はたけやまもちくに}で徳政一揆勢を支援。
管領細川持之^{かんれい}を失脚させたいため。

う 管領細川持之は、嘉吉の徳政一揆勢
に屈して 今度は徳政令を発布した。

え 将軍足利義教暗殺後の室町幕府
山名や畠山など有力大名が私利私欲
で勝手な動きを始め、応仁の乱へ。